

的場 かおり

法学研究科・教授（兼任）

【研究】

①論文「19世紀初頭フランスにおけるプレス自由と立法―ドイツ同盟のプレス法議論への示唆」『阪大法学』73巻4号(699～731頁／2023年11月)を発表した。

②桐山孝信・本多滝夫・奥野恒久・的場かおり編『民主主義の深化と真価』（文理閣、2024年2月）を刊行した。法哲学者・中村浩爾先生の追悼論文集である同書の編者を務めるとともに、「19世紀初頭ドイツ・フランスにおける陪審制とプレス犯罪―プレス自由の観点から見た議論と立法」（第1部第9章／113～124頁）を執筆した。

※①、②の論文はいずれも、日本学術振興会 科学研究費助成事業基盤研究(C)「政治参加の自由にみる『未成年／後見』の歴史―日独の立法比較」の研究成果の一部である。

③産業界と大学の「つながり方」というテーマの下、多様な分野の研究者が議論する座談会のメンバーに選ばれ、主に法学・法律という観点から意見を述べた。同時に、「法制史」の研究が社会課題の解決にどう生かせるのかについてインタビューを受けた。座談会、インタビューの内容は、大阪大学の広報誌『OU Research Gazette』2号(2023年11月)の「未来考究 Cross Talk」、「若手研究者 未来考究」に掲載された。

【教育】

①法学部

・「法学の基礎」では、法系論、憲法や刑事法の展開、ジェンダーと法の関係など、初学者に必要な基礎的な内容を講義した。

・「西洋法制史」では、受講生が意見交換し発表する機会を設け、主体的に授業参加できる講義を展開した。スライド資料を提示（講義後はCLEで配信）し、レジュメ以上の学習ができる工夫をした。

・今年度から開講した「演習 a・b」では、ヨーロッパの判例を素材に、西洋法の歴史的変遷のみならず、報告資料の作り方、議論の仕方を教授した。受講生は多様な観点から分析し、活発に議論してくれた。4年生の卒業レポート指導も行った。

②法学研究科

「西洋法史」「西洋法制史特殊講義」では、ヨーロッパを代表する法学者の法理論を吟味した。また受講者の研究テーマと関連づけ、法学者の理論や著作について議論を行った。

③大阪府立高津高校

10月に、1年生対象に模擬授業を行った。刑事司法の在り方について現行制度とその歴史を講義した。

2月には、2年生の「研究発表会」に参加し、法律・経営分野を扱った5チームの研究発表を講評した。研究内容と課題、発表・資料作成のルール、チームワークなどの観点から評価した。

【管理運営】

①「大学院法学研究科・教務委員」を務め、各種教務事項の検討や議論を行った。

②「法学会運営委員」を務めた。新入生のご家族対象の懇談会、講義内において法学会への入会の呼びかけを行ったり、特に編集委員として『阪大法学』、『まちかね法政ジャーナル』の刊行に係る業務や検討を行ったりした。

【社会貢献】

①和泉市：「情報公開・個人情報保護審査会」、「行政不服審査会」、「政治倫理審査会」の各委員として、諮問のあった事案について審査を行った。

②大阪府：「情報公開審査会」委員（第二部会長代理）を務め、諮問のあった事案について審査を行った。

③大阪市：「人権施策推進審議会」委員を務め、人権保障に係る同市の取組みについて議論・提案を行った。また、「市民局ダイバーシティ推進人権啓発・相談事業等委託業者選定委員」として、事業者の選定を行った。

④公益財団法人 東海ジェンダー研究所：「評議員」を務め、評議員会にて各種事業に関する報告を受け、決議を行った。

⑤法制史学会：法制史学会第75回総会準備委員に任命され、2024年5月25日・26日に大阪大学・豊中キャンパスで開催予定である総会（法学研究科との共催）の準備を進めている。

